

令和5年度 浜松市立砂丘小学校の学校評価（令和5年12月実施）報告書

評価項目		評価	児童	保護者	教職員
1 学校教育目標 一心に学ぶ子	(1) 学力	A	46	21	11
		B	46	56	56
		C	4	10	33
		D	4	2	0
		E		12	0
	(2) 思いやり	A	44	48	67
		B	41	48	33
		C	7	0	0
		D	7	0	0
		E		4	0
	(3) 規範意識	A	44	25	22
		B	41	60	67
		C	7	12	11
		D	7	2	0
		E		2	0
2 分かる授業・楽しい授業	(1) 基礎基本の定着	A	76	33	44
		B	19	56	56
		C	4	0	0
		D	1	2	0
		E		10	0
	(2) 学ぶ意欲を向上させる授業の工夫	A	67	42	78
		B	24	44	22
		C	5	4	0
		D	4	2	0
		E		8	0

【評価】（単位はパーセント）
A…とてもそう思う B…そう思う C…あまりそう思わない
D…そう思わない E…わからない
※数字の太字は、A B合わせて90％以上を表す

2 学校関係者評価

来年度の取り組みについて、砂丘小学校独自の特色のある教育や保護者との協力のもと目標をもたせ、児童本人が楽しめる内容を取り入れられとよい。また、砂丘小のよさでもある少人数教育は一方で、大人数の(中学・高校)生活への対応という点で不安(いじめの発生等)を感じるので、たくましさを育てておくといよい。いじめの対応は、学校だけに任せず、児童の周りでも窓口になれるとよい。

3 アンケート集計からの考察

「学力」「基礎基本の定着」「安心できる学級・集団作り」に関しては、アンケートの数字が年々伸びている。質問しやすい環境と間違いを許容できる人間関係、教師の寄り添う指導が浸透してきていると思われる。「学力」に関しては、子どもの認識と大人(保護者・教師)との間に差があり、大人のもっと子供に学力を付けさせたいという気持ち数字として表れている。
「子ども理解」の各項目において、いずれも90％を超える高い数字が出ているが、いじめ問題に直結する項目でもあるので、まだ、満足はできない。子供が安心して友達と教室で学習し、悩みごと等、教員に気軽に相談できる体制にすべきと考える。
各行事・活動において、保護者の方や地域の方の御協力を頂いて、教師と三位一体で児童の成長を育んでいる。「相談体制」「家庭・地域との連携」も年を追うごとに数字が高くなってきている。今後もCS(コミュニティー・スクール)、PTAと共に砂丘小独自の特色のある教育活動を継続していく必要がある。
また、「自己肯定感」については、昨年度より数字は若干高いものの、まだ自分の良さに気付けないでいる児童がいる。誰にでもよいところがあるということを色々な教育活動を通して、心理的に支えながら育てていく必要がある。

評価項目		評価	児童	保護者	教職員
3 子ども理解	(1) 子供理解を基盤とした指導・支援	A	78	65	67
		B	17	29	33
		C	4	0	0
		D	1	2	0
		E		4	0
	(2) 安心できる学級・集団づくり	A	63	52	89
		B	28	38	11
		C	7	2	0
		D	2	0	0
		E		8	0
	(3) 生命の尊重・規範意識の醸成	A	80	60	89
		B	15	35	11
		C	3	0	0
		D	2	0	0
		E		6	0
4 開かれた学校	(1) 相談体制	A	48	50	67
		B	41	40	33
		C	7	2	0
		D	4	2	0
		E		6	0
	(2) 家庭・地域との連携	A		58	56
		B		35	44
		C		2	0
		D		2	0
		E		4	0
	(3) 情報の提供	A		48	78
		B		40	22
		C		6	0
		D		2	0
		E		4	0
	(4) 安全管理	A		48	56
		B		44	44
		C		4	0
		D		0	0
		E		4	0

評価項目		評価	児童	保護者	教職員
5 キャリア教育	(1) 自己肯定感	A	52	48	33
		B	22	42	56
		C	17	0	0
		D	9	0	0
		E		10	11
	(2) 自己管理能力	A	43	21	33
		B	47	58	56
		C	5	12	0
		D	5	2	0
		E		8	11
	(3) 将来の夢	A	80	27	33
		B	11	54	44
		C	4	6	0
		D	5	2	0
		E		12	22

令和5年度の取り組み② -重点方策-

- (1)砂丘小のよさを継承・発展しつつ、直面する課題への対応
○かしこさ【自ら学び続ける子】
・授業の充実(単元構成・授業構成の工夫、学習用タブレット端末の活用、地域の学習素材や地域人材の活用、少人数学習指導法の研修)
・自ら学ぶ力(基礎的な学力の定着、自ら課題に取り組む意欲や姿勢)
○やさしさ【互いの良さを認め合える子】
・安心・安全な居場所作り・心理的安全性のある学級経営、いじめのない学級づくり(いじめ見逃し0)・他者と関わる機会の設定
○たくましさ【最後までやり抜く子】
・目標に向かって最後までやり抜く場の設定、体育的行事(運動会・マラソン大会)
・基礎体力を高め、運動の楽しさを味わい、生涯にわたって運動に取り組む基礎を作る体育科学習の充実
- (2)児童数減に伴う複式学級による指導開始に向けて準備
○少人数学習指導法の研修
○計画的な教室環境整備
- (3)充実した教育活動推進のために時間資源を生み出す方策の検討

～ 少人数の良さを生かした教育実践 ～

一人一人に寄り添ったきめ細かい手厚い教育
一人一人が活躍できる主役になれる多くの機会

温かいアットホームな学校風土
地域・保護者との連携による充実した教育活動

4 次年度に向けた改善策

今年度、金曜日のみ午前5時間日課を行っていたが、来年度からすべての曜日を午前5時間日課にすることで、今年度以上に教員出張時における自習の時間を削減でき、学習時間が増加する。
また、午前5時間にすることで、今年度行っていた朝活動の学習の時間がなくなってしまうことを回避するため、毎週金曜日放課後に「かぶとんタイム」を創設する。欠席分の学習の遅れや、学習の遅れの目立つ児童の学力向上に資する時間とし、必要に応じて担任が指導する時間とした。
「子ども理解」「いじめ対策」としては、より一層の寄り添いに務め、継続的かつ定期的にいじめ対策委員会を開催し、子供たちの安心できる学習環境を整えていく。
本校は、アンケート結果からも分かるように家庭・地域との良好な関係が構築できている。来年度も引き続き、ブログ・さくら連絡網等を中心として情報発信をし、保護者・地域と一体となって教育活動を続けていきたいと考える。